

朝の館内放送

令和5年2月6日

おはようございます、市長の中村健です。

1月から、大河ドラマ「どうする家康」の放送が始まりました。

松本潤さん、岡田准一さん、有村架純さんをはじめとする豪華キャストに注目が集まっていますが、「リーガルハイ」や「コンフィデンスマンJP」などを手がけた古沢良太（こさわりょうた）さんが脚本を担当している点が、良い意味で大河ドラマらしさを裏切ってくれるのではないかと期待しています。

さて、徳川家康といえば、岡崎が生誕の地であることはあまりにも有名ですが、その人生の歩みを見ていくと、西尾市に関係してくる話題も少なくありません。

まずは今川氏との関係です。

幼少期は人質として、桶狭間の戦いの頃は主従の関係にあった今川氏ですが、家康と名乗る前の松平元康という名前には今川義元の「元」という字も入っており、非常に深い関係だったといえます。

そして、そんな今川氏が誕生したのは現在の西尾市であり、その発祥にちなんで今川町という名前が残っています。

また、現在の吉良町にあった東条城及び城主の吉良義昭（きらよしあきら）については、第3話において、松平元康が今川方から織田方につく際に攻め落とされる形で出てきたのも記憶に新しいところです。

その他にも、家康により改名された康全寺や、家康の父・広忠が命を狙われた際にかくまわれたとされる室城址など、ゆかりのある名所旧跡がたくさんあります。

西尾の歴史を深く知ることで、違った角度からも大河ドラマを楽しめ、毎週ワクワクドキドキしながら番組を見ることができるので、「どうする家康」の放送を機に、西尾の歴史について勉強してみることをお勧めします。

それだけでなく、西尾市としては、「どうする家康」をきっかけとした観光客の誘致にも繋げていきたいと考えており、そのための斬新なアイデアを引き続き募集していますので、よろしくお願ひします。

以上で、朝の館内放送を終わります。